

1.【福岡県】福岡県三井郡大刀洗町 県道鳥栖朝倉線佐田川橋橋梁下部工(P2)工事

〈試行工事概要〉

工期	R4.9.9～R5.6.30
試行期間	R4.11.18～R5.3.20
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・RC橋脚工 1基 ・低水護岸工 1式 ・土留・仮締切工 1式 ・仮設工 1式
発注者	福岡県久留米県土整備事務所
受注者	株式会社 南組

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・場所打杭工 鉄筋出来形確認 ・仮設工 鋼矢板 使用材料確認 ・橋脚躯体工 鉄筋組立完了確認 ・鉄筋圧接工 施工前試験溶接部の適否 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋径測定時のデジタルノギスの使用 ・鉄筋測定時のカラーホース番号札の使用



【立会状況（現場側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

- 〈効果〉
- ・立会時間の短縮

- 〈課題〉
- ・音声のとぎれ



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

●監督員（発注者）

- 〈効果〉
- ・移動時間が削減できた。

- 〈課題〉
- ・出来形の確認は可能であるが、位置関係や高さ関係の確認ができない。
 - ・現場の全体的な把握や、安全対策状況の確認が困難である。

2.【九州地方整備局】佐賀県伊万里市 佐賀497号伊万里中IC橋下部工（A1）外工事

〈試行工事概要〉

工期	R.3.4.5～R.4.10.3
試行期間	R.3.6.8～R.4.10.3
工事内容 (主工種)	掘削工 (ICT) V=8, 400m3 路体盛土工 V=7, 600m3 橋台躯体工 (コンクリート) V=602m3 カルバート工 (コンクリート) V=596m3
事務所	佐賀国道事務所
受注者	(株) 上滝建設

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に
使用した機器及び「配
信」に用いたシステム

「記録」
・ウェアラブルカメラ
(スマートフォン)

「配信」
・Web会議システム
(現場クラウドforサイ
ボウズOffice)

遠隔臨場による確認項目

- ・橋台工鉄筋かぶり検査
- ・橋台工鉄筋検査
- ・カルバート工(枕基礎)出来形確認

工夫した点

- ・現場では、重機及び、強風時などの騒音が多いため、ノイズキャンセリング機能付きBluetoothイヤホンを使用した。
- ・鉄筋径など、小さな文字や狭い場所の確認が多かったため、広角レンズ付きカメラを使用した。
- ・鉄筋の本数、種類の明示を行う際にフォトマーカー及びラミネートを使用した



【立会状況（現場側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

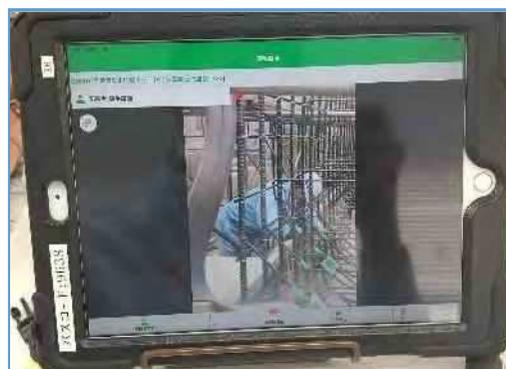
- ・遠隔だった為、感染症のリスクを低減することができた。
- ・開始の連絡をすれば、立会の拘束時間が少なく済んだ。

〈課題〉

- ・PC側に(映像)が途切れるなど映らない事があった。
- ・手元に意識がいき、他のところが疎かになる。



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・事務所に居ながら立会や確認が可能で有り、監督行為の負担軽減となった。
- ・黒板等の文字も確認できる解像度で、立会等に十分活用できる精度であった。

〈課題〉

- ・夏の高温時など、現場の機器が遠隔中にフリーズすることがあった。

3.【福岡県】福岡県朝倉市 県道甘木朝倉田主丸線朝羽大橋橋梁塗装工事（1工区）

〈試行工事概要〉

工期	R5.1.13～R5.6.30
試行期間	R5.1.13～R5.6.30
工事内容 (主工種)	朝羽大橋 鋼橋 A2～P10間 塗膜除去工・塗替塗装工 ・工事延長 L=31.6m ・工事面積 A=559㎡
発注者	福岡県朝倉県土整備事務所
受注者	株式会社 キューボウ

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・モタリング ミックスM・I・C・S QS-110023-VE 「配信」 ・モタリング ミックス専用システム	・リアルタイム映像配信による、施工 状況各段階確認及び立会（出来形・ 品質・安全・材料検収等）	・GW等長期現場閉所時での現場及び 現場事務所の防犯対策



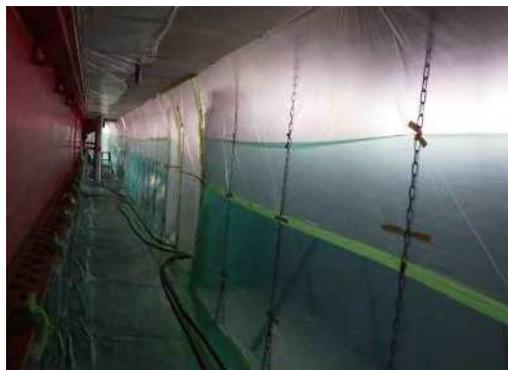
【立会状況（現場側）】



【現場事務所出入口付近(防犯対策)】



【立会状況（監督側）】



【現場橋梁吊足場内(防犯対策)】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・段階確認及び立会時の移動時間が削減でき、決まった時間に立会を開始できるので仕事の効率が向上した。
- ・映像がクラウド上に残るので、書類整理等の内容確認が容易にできた。

〈課題〉

- ・通信環境の悪い場所では通信が途切れることがあった。
- ・今回、仮設が吊足場で、路面を大型車が走行すると振動が大きかったため、遠隔カメラ本体にスタビライザー機能があるとより鮮明な画像になる。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場への移動時間削減

〈課題〉

- ・通信環境の整備

4.【福岡県】福岡県嘉麻市 国道322号嘉麻バイパストンネル工事

〈試行工事概要〉

工期	R3.6.22 ~ R5.7.31
試行期間	R5.3.31~R5.4.30
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル工 L=431.0m ・インバート工 L=325.7m ・覆工 L=429.8m ・坑門 N=2基 ・コンクリート舗装 A=2,880m² ・アスファルト中間層 A=2,880m² ・管渠、歩車道境界ブロック L=862.0m
発注者	福岡県飯塚県土整備事務所
受注者	東急・サカヒラ・修成JV

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・Zoom	・ブルーフローリング実施状況 (締固め不良箇所の有無)	・トンネル坑内での遠隔臨場だったので、暗く映らないように照明設備を確保して臨場確認を行った。 ・坑内の通信環境の整備 (Wi-Fiの設置) ・監督側の視認性向上のため大型モニターを設置



【立会状況（現場側）】



【照明を多く設け、十分な明るさを確保した】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・受けたい時間帯に臨場確認が受けられる。

〈課題〉

- ・トンネル坑内で遠隔臨場を受ける場合は、ネット環境の確立が課題。
- ・ネット環境の為、通信・マイクが途切れることがある。



【立会状況（監督側）】



【坑内にWi-Fiルーターの設置(@100m)】

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・移動時間短縮と移動中や現場での事故防止
- ・移動不要による業務の効率化

〈課題〉

- ・現場でのネット環境整備
- ・現地立会が必要な時もあるが、先入観にとらわれず遠隔臨場を活用するという意識の醸成が必要

5.【佐賀県】佐賀県伊万里市

伊万里川外河川保全工事（河道掘削工）

〈試行工事概要〉

工期	R4.12.28～R5.7.12
試行期間	R4.12.28～R5.7.12
工事内容 (主工種)	【伊万里川】 ・河道掘削工 V=1, 530m ³ 【原屋敷川】 ・河道掘削工 V=269m ³ ・
発注者	佐賀県伊万里土木事務所
受注者	株式会社シンセイ

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット端末 「配信」 ・現場検査特化型 遠隔臨場システムGリ ポート	・現況地盤高確認 ・掘削完了高確認	・タブレット使用により配信画像を 確認しながらの通信



【立会状況（現場側）】



【受注者側使用機器（メーカーカタログ）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・システムの利用により立会員来場までの待ち時間がなくなり準備から立会完了までの時間短縮ができた。

〈課題〉

- ・操作の習熟が必要だと感じた。



【立会状況（監督側）】



【立会状況（監督側）】

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場への往復時間が不要となることによる業務の効率化ができた。

〈課題〉

- ・通信環境により映像が止まるがあった。

6.【長崎県】長崎県長崎市京泊 長崎地区水産流通基盤整備工事(-6m岸壁(B)(改良)(2工区))

〈試行工事概要〉

工期	R4.10.26~R5.3.24
試行期間	R4.10.26~R5.9.29
工事内容 (主工種)	-6m岸壁(B)(改良) 159m ・堤体工 L=147m ・上部工 L=147m ・付属工 1式
発注者	長崎県
受注者	田浦組・長崎西部建設特定共同企業体

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・映像・音声の記録なし 「配信」 ・Microsoft Teams	・堤体工 ブロック製作における差 し筋出来形確認	【発注者・受注者】 ・事前に段階確認の方法・段取り、注意点を打合せ。 (具体には、スケールの当て方等) 【受注者】 ・ブロックをナンバー順に整列 ・画質を鮮明にするため、Wi-Fiを個別契約 ・箱尺使用で確認値が明確

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・監督員が予定に空きがあれば実施できるため、時間的な融通が利く。
- ・監督員の現場到着を待つ必要がなく、時間通りにできるので、前後の予定が組みやすい。

〈課題〉

- ・雨の日は、タブレットのレンズが濡れ、写らない。
- ・天気が悪いと、鮮明に映らない。
- ・Wi-Fi環境（外付けWi-Fiではなく、電話回線による別契約が有効）に別途通信費用が発生する。
- ・強風時の風の音や他工事の発生音など、雑音対策が必要。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場までの往復移動時間が短縮できる。（約1時間20分）
- ・現場内での移動時間が短縮できる。
- ・現場までの移動経費が縮減できる。（タクシーの場合：約10,000円）
- ・執務室での遠隔臨場のため、作業環境が快適。
- ・雪等により交通手段が限られた場合でも、現場に行く必要がないため、遠隔臨場が可能。

〈課題〉

- ・安いタブレットはピントが合うのに時間がかかる。
- ・画質があらい。
- ・山中やトンネル内は通信環境が悪くつながらない。
- ・強風時は雑音はいる。



【通信環境】

高画質機器・個別の通信契約



【整理・整頓】

・ブロックを整理・整頓



【箱尺使用】

確認値が明確



【専用のヘッドホン、マイク使用】

電話等はシャットアウトで臨場集中

7.【長崎県】長崎県北松浦郡小値賀町 小値賀地区水産生産基盤整備工事(沖防波堤(A)(改良))

〈試行工事概要〉

工期	R5.4.24~R5.12.19
試行期間	R5.4.24~R5.12.19
工事内容 (主工種)	沖防波堤(A)(改良) L=55m 基礎工 L=40m 堤体工 L=55m
発注者	長崎県
受注者	(株)西海建設

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット 「配信」 ・Microsoft Teams	<ul style="list-style-type: none"> ・被覆ブロック型枠寸法確認 ・被覆ブロック出来形個数確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影者や計測者など役割を事前に決め、明確化した。



【立会状況 (現場側)】



【立会状況 (現場側)】

〈現場の声〉

●施工者 (受注者)

〈効果〉

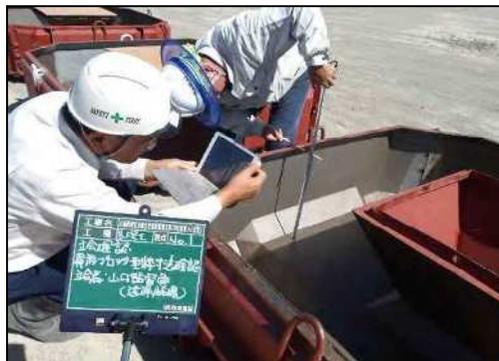
- ・離島の現場からブロック製作ヤード(長崎市内)までの移動時間が削減できた。

〈課題〉

- ・特になし。



【立会状況 (監督側)】



【工夫が分かる写真 (役割の明確化)】

●監督員 (発注者)

〈効果〉

- ・立会現場までの移動時間の短縮効果があった。

〈課題〉

- ・離島などの僻地において、電波が届かない場合がある。

8.【長崎県】長崎県諫早市

一般国道207号道路改良工事（舗装工）

〈試行工事概要〉

工期	R5.3.13～R5.9.8
試行期間	R5.4.25～R5.9.8
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事延長 L=467m ・ 舗装工 A=4,471m² ・ 区画線工 L=1,649m ・ 排水構造物工 L=333m
発注者	長崎県
受注者	西部道路株式会社

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・クラウド録画型カメラ Safie Pocket 2 「配信」 ・Safie Viewer	<ul style="list-style-type: none"> ・マンホール調整の現況確認。 ・舗装工の出来形確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全天候型の機器の使用 ・iPadの貸し出し



【立会状況（現場側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

〈現場の声〉

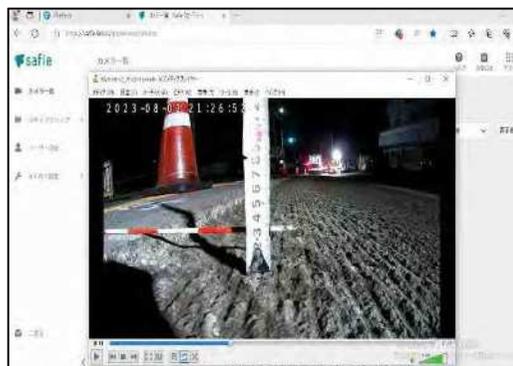
●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・現場立会前の待ち時間を有効に使える。
- ・協議事項が生じたときにすぐに現場確認が行える点

〈課題〉

- ・マイク音量が小さい為、携帯電話での会話が必要であった。
- ・通行車両の走行の音や現場の作業音等を拾うため、対策が必要。



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・振興局から寸法や現場状況などすぐ確認ができる。
- ・現場への移動の手間が省け、時間を有効活用できる。

〈課題〉

- ・振興局内の電波が悪い為、鮮明度がよくなかったり、画面がフリーズする場面があった。

9.【大分県】大分県杵築市

県道八坂真那井線道路改良工事

〈試行工事概要〉

工期	R5.10.5～R6.3.25
試行期間	R5.10.5～R6.3.25
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・延長 L=160m ・幅員 W=6.0(9.0)m ・掘削工 V=1,100m³ ・側溝工 L=408m ・路盤工 A=1485m²
発注者	大分県別府土木事務所
受注者	(株)ユーロード

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット端末 (ipad mini) 「配信」 Web会議システム (Zoom)	・路床・路盤(仮舗装)の確認 等	・別途端末を用意し、声が入りやすいよう会議室で行った。 ・iPadを使用し、巻尺・スケールの数値が見やすいように配信者が確認しながら配信を行った。



【立会状況（現場側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・これまで監督員が往復する時間を考慮して予定を組んでいたが、確認時間のみのため、立会をスムーズに行えることができる。
- ・施工中に気になった箇所や確認して欲しい箇所を監督員に来てもらわず映像で確認することができる。

〈課題〉

- ・特になし

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場に往復する時間が不要となり、業務の効率化を図ることができ、負担軽減となった。
- ・日程調整が容易になった。

〈課題〉

- ・自席で行くと周囲の環境音が入り、受注者側が聞き取りづらいことがあったため、小規模の会議室が必要である。
- ・自席以外では、庁内のネットワークセキュリティにより不可能であるため、別途で端末を準備する必要がある。そのため、Zoom会議に入る際の設定等で時間を要してしまうことから、通信環境を整える必要がある。

10.【熊本県】熊本県球磨郡五木村

梶原川(5662)2年発生河川災害復旧(2過年)工事

〈試行工事概要〉

工期	R5.3.28~R6.3.15
試行期間	R5.8.24~R6.3.15
工事内容 (主工種)	河川災害復旧工事 ・復旧延長 34.2m ・パネル設置工 467m ² ・仮設工 1式
発注者	熊本県 球磨地域振興局
受注者	前川・磯口復旧・復興建設共同企業体

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・iphone8 ・Wi-Fistation5G 「配信」 ・現場クラウドOne 遠隔臨場オプション	・施工状況の確認 ・資材の搬入及び使用材料確認 ・仮設工の出来形確認 ・協議による変更使用材料(流動化処理土)の施工状況の録画	・現場のネット環境が悪いため、ポケットWi-Fiを使用した。



【立会状況(施工状況)】



【立会状況(出来形検査)】

〈現場の声〉

●施工者(受注者)

〈効果〉

- ・特に施工状況の確認では、地山状況により作業時間にばらつきがあったが、遠隔臨場により現場と監督員の現場待機等のロスが少なくできた。
- ・録画することにより立会が完了した後でも、再確認できた。

〈課題〉

- ・ポケットWi-Fiを使用しても、臨場中に不具合が発生するため、通信環境を事前に確認する必要がある。

●監督員(発注者)

〈効果〉

- ・往復(振興局~施工現場)の移動時間が削減できる。
- ・必要な時、すぐに現場を目で確認できる。

〈課題〉

- ・電波の状況に実施が左右される。



【立会状況(監督側)】



【ポケットWi-Fiの使用(現場側)】

11.【大分県】大分県大分市

大分新設特別支援大規模改造工事

〈試行工事概要〉

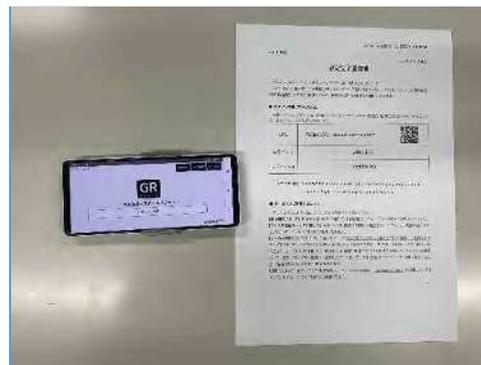
工期	R4.10.28～R5.12.15
試行期間	R4.10.28～R5.6.30
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部棟内部大規模改造工事 ・管理・中学部棟内外部大規模改造工事
発注者	大分県大分土木事務所
受注者	(株)熊野建設

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン (android端末) 「配信」 ・遠隔臨場システム (Gレポート)	<ul style="list-style-type: none"> ・防水検査の立会い ・施工方法の協議 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラの手ぶれ軽減のためスタビライザーの使用



【立会状況 (現場側)】



【受注者側使用機器】

〈現場の声〉

●施工者 (受注者)

〈効果〉

- ・文章や図面ではうまく表現できない協議内容の説明や現場立会いへの効率化が図れた。

〈課題〉

- ・特になし

●監督員 (発注者)

〈効果〉

- ・映像により現地の状況把握ができるため協議にも有効である。
- ・現場への移動時間が縮減できてよい。

〈課題〉

- ・操作方法が不慣れな場合は設定に時間を要す。



【立会状況 (監督側)】

12.【北九州市】福岡県北九州市

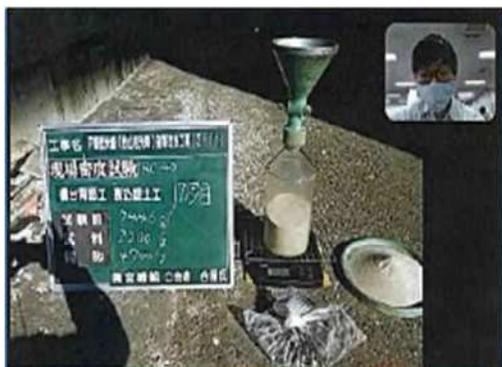
戸畑枝光線（牧山枝光間）道路改良工事（3-11）

〈試行工事概要〉

工期	R4.3.24～R5.2.28
試行期間	R4.7.15～R5.1.23
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・工事延長 278m ・補強土壁工 143m ・重力擁壁工 45m ・排水工 668m ・踏掛版工 1箇所 ・路盤工 1160㎡ ・防護柵工 40m ・水替工 1式 ・照明電線管工 1式
発注者	北九州市
受注者	(株) 宮崎組

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・ZOOM	補強土壁工 ・現場密度試験 照明設備工 ・プルボックス使用材料検収 踏掛版工 ・踏掛版工の配筋検測 ・踏掛版工の出来形検測 等	・画面が小さく、動きながらだとぶれてしまい見にくいので、なるべくぶれないように撮影を行ったこと。



【立会状況（現場側）現場密度試験】



【使用材料検収の様子】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・通話だけでやり取りができるため、時間的に楽だった。

〈課題〉

- ・足場が悪いところでは、撮影しながらの移動が困難なため不向きである。
- ・慣れていないと時間を要すること。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場に行く手間が省けるので、移動時間が不必要であった。
- ・数値の測定等には向いていると思う。

〈課題〉

- ・生コン性状試験等で状態を直接目で確認していないので、出来ばえに関して少し心配な部分があった。
- ・質感や出来ばえの部分に関しては、直接目で確認するのと差があると思う。



【監督員は確認でき次第OKサインを出す】



【踏掛版工の出来形検測の様子】

13.【沖縄総合事務局】沖縄県

令和4年度南部国道管内安全施設設置工事

〈試行工事概要〉

工期	R4.7.12~R5.3.31
試行期間	R4.7.12~R5.3.31
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装工一式 防護柵一式 ・区画線工一式 ・道路付属施設工一式 ・道路土工一式、構造物撤去工一式 ・標識工 ・橋梁付属物工一式
発注者	沖縄総合事務局 南部国道事務所
受注者	國幸興発株式会社

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ 電腦ASPer (デンノウエスパー) 「配信」 ・ 電腦ASPer (デンノウエスパー)	・ 橋梁付属物工 落下物等防止柵の材料確認 ・ 橋梁付属物工 落下物等防止柵の出来形確認	・ 自動車専用道路であり、人の立入が禁止されているため、事前に交通機動隊の指導のもと、作業員、規制時間、規制範囲をできるだけ最小にし、安全に実施することができた。



【立会状況 出来形確認 R506那覇空港自動車道】



【立会状況 材料確認 受注者ヤード】



〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・ 効率よく業務をすすめられる（書類作成の簡素化）
- ・ 人手不足の解消（規制範囲の縮小）

〈課題〉

- ・ 通信環境の整備（音声、映像がとぎれる）

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・ 移動時間の削減（現場まで往復1時間程度）
- ・ 安全性の確保

〈課題〉

- ・ ズーム機能にて細かい文字が確認しづらい
- ・ 風の音で音声が聞き取りにくい
- ・ カメラの手ぶれによって確認しづらい場合がある

14.【沖縄総合事務局】沖縄県国頭郡本部町 令和5年度 海洋博公園保全工事

〈試行工事概要〉

工期	R5.4.4～R6.3.29
試行期間	R5.5.18～R6.3.29
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理施設整備工 1式 ・サービス施設整備工 1式 ・擁壁工 1式 ・コンクリート工 1式 ・落石防止工 1式
発注者	国営沖縄記念公園事務所
受注者	株式会社 沖縄庭芸

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ i-Pad 「配信」 ・ ASPer Live	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防蛇フェンス材料の支給品確認 ・ コンクリート工の材料確認 ・ サイン基礎の材料確認 ・ 防蛇ネットの材料確認 ・ 防蛇ネットの出来形確認 ・ 小型重力式擁壁の出来形確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料確認にデジタルノギスを使用し視認性を高めた。 ・ 通信機器の不調に備えて予備のWi-Fiを準備した。



【立会状況（現場側）】



【ポケットWi-Fi、デジタルノギス】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・ 現場への臨場を必要としていた確認を遠隔で行う事で日程調整がしやすく次工程へスムーズに移る事ができた。

〈課題〉

- ・ ポケットWi-Fiを使用して遠隔臨場を行ったが、通信が途切れる事があった。
- ・ 夏季、炎天下での遠隔臨場時に撮影機器（タブレット）が高温により使用できなくなる事があり復旧まで時間を要した。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・ 遠隔臨場により現場への移動時間が無くなり、監督業務の効率化が図れた。

〈課題〉

- ・ 現場周辺の通信状況により、映像・音声のフリーズまたはタイムラグが発生するケースがあった。
- ・ 映像だけでは全体的な把握が難しいため、確認内容によっては現場臨場が必要なケースがある。



【立会状況（監督側）】